

間質性肺疾患ってどんな病気？

こんな症状、ございませんか？

空咳




痰の出ない、
コンコンといった
咳が出ます。

労作時の息切れ



坂道や階段の
上り下りで
息が切れます。

日常の軽い動作での息切れ



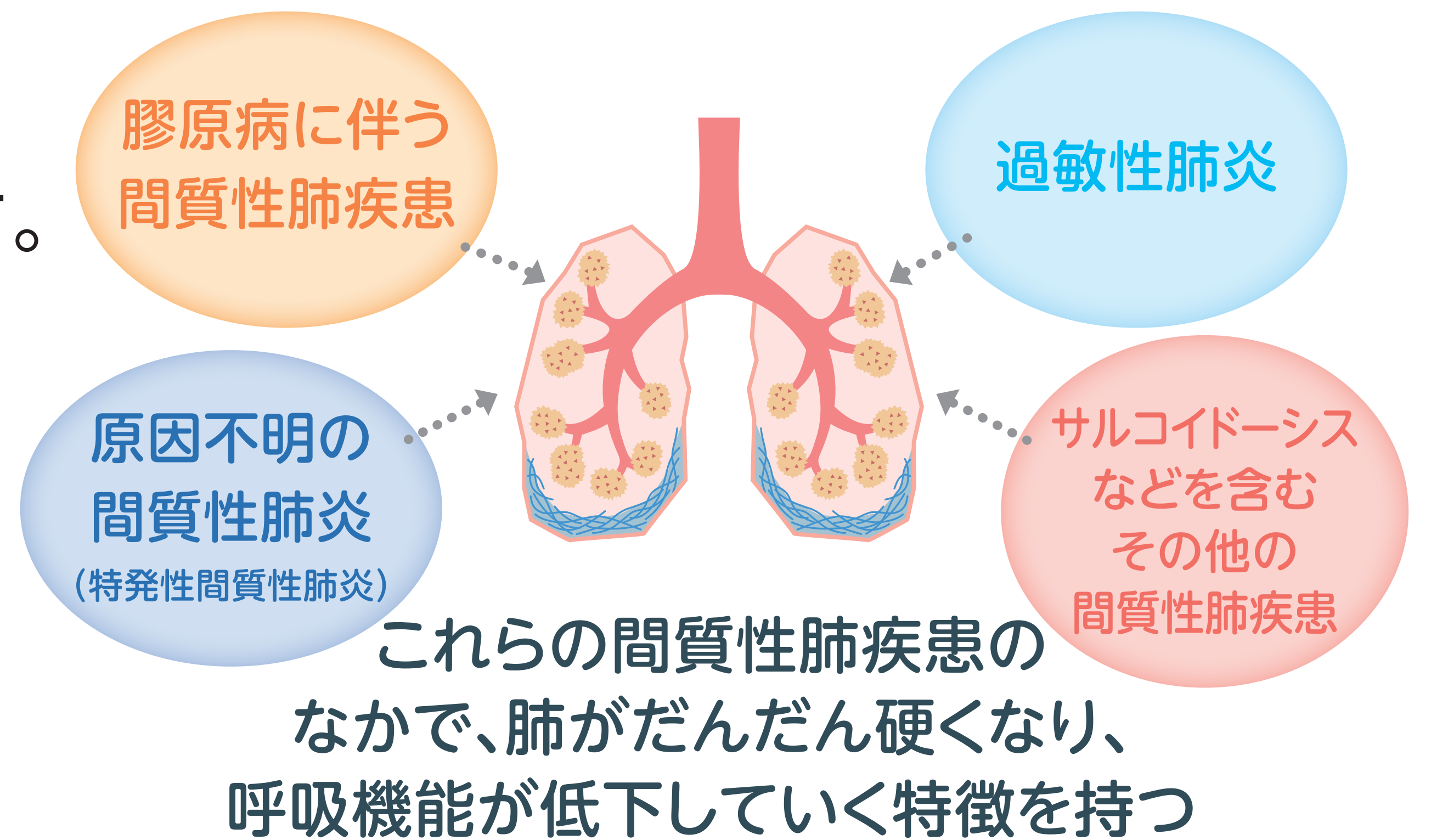
疲れやすくなり、
着替えや入浴などの
日常の動作でも
息が切れます。

間質性肺疾患では長い期間にわたって、このような症状があらわれたりします¹⁾

間質性肺疾患はどんな病気なの？

間質性肺疾患とは、右図にあるような病気をまとめた呼び名であり、さまざまなものが含まれます。

間質とは肺にある肺胞の周りにある組織です。間質性肺疾患のうち、肺の間質に炎症が起こり、間質の壁が硬くなって(線維化)、呼吸がしづらくなる病気を、**肺線維症**と呼びます。



病気の進行に気づくためのポイント

間質性肺疾患では、肺が進行性にだんだんと硬くなり、呼吸機能が低下していく病気を「**進行性線維化を伴う間質性肺疾患**」と呼びます²⁾。

病気によって一度呼吸機能が低下すると、以前の状態に戻すことは難しくなってしまいます。病気が進行していないかどうか、検査を行うほかに、日常生活において呼吸器症状に変化がないかセルフチェックで定期的に確かめましょう。

「セルフチェックシート」と「専門医検索」はこちら



肺線維症に関する総合情報サイト
わかる、つながる、**肺線維症**

<https://hai-senishou.jp/>



出典 1) 日本呼吸器学会/日本リウマチ学会 膠原病に伴う間質性肺疾患 診断・治療指針 2020 p.147-148, 2020
2) 日本呼吸器学会/日本リウマチ学会 膠原病に伴う間質性肺疾患 診断・治療指針 2020 p.146-147, 2020